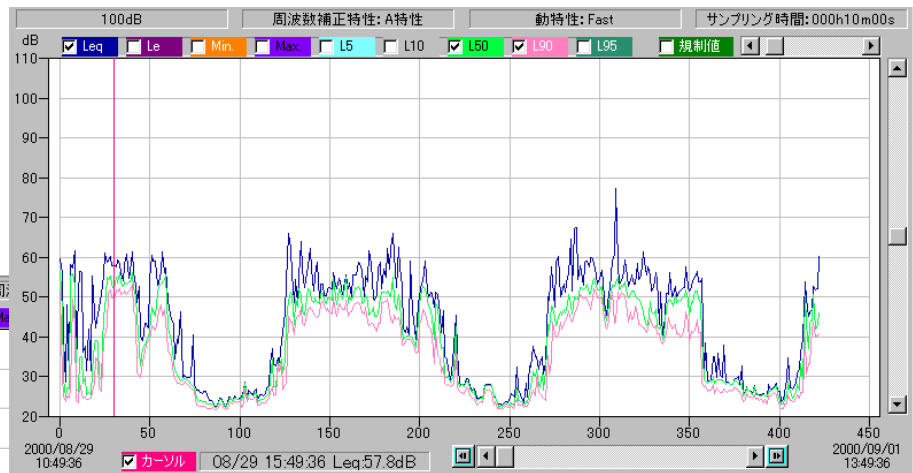


このソフトは、4430騒音計で計測したデータをPCに回収して加工するためのソフトです。計測後にデータを回収するやり方と、計測しながらデータを回収するやり方があります。ご使用状況に合わせてお使いください。

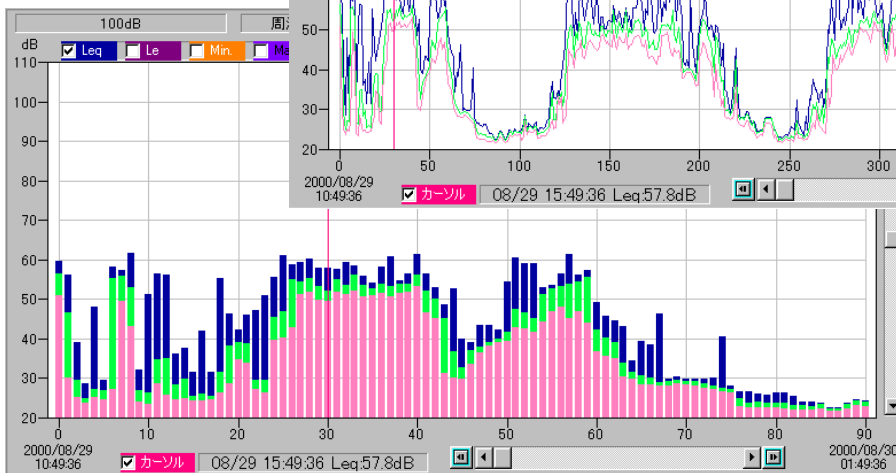
このソフトでできること

1. 回収データをテキスト形式のファイルで保存するので、お手持ちの汎用ソフトでデータ加工ができます。
2. PCに接続すればデータはPCに転送され、騒音計本体のメモリ制限にかかわらず、大容量のデータを保存、管理できます。
3. 必要なデータを選択するだけで、次のようなグラフや報告書を簡単に作成、活用できます。

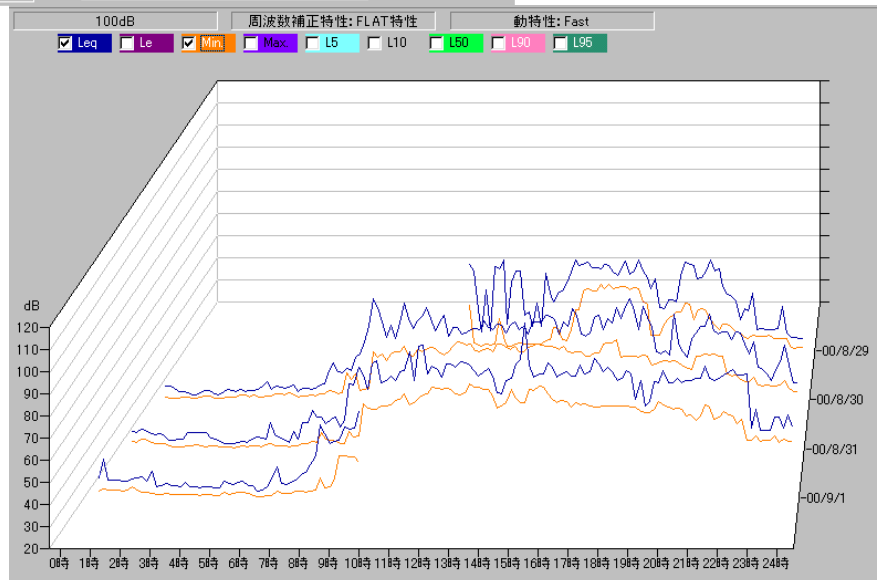
折れ線グラフ



棒グラフ



日次データ比較表示



また、次のようなリストを A 4 版で出力します。

MODEL4430 積分形普通騒音計

100 dB 周波数補正特性:A 特性 動特性:Fast

No	計測時間	Leq	Le	Min	Max	L05	L10	L50	L90	L95
1	2000/11/20 21:16:20	49.7	77.3	26.8	73.1	55	48.1	34	29.8	28.7
2	2000/11/20 21:16:20	35.6	63.2	26.8	63.3	36.7	34	29.6	28	27.7
3	2000/11/20 21:16:20	32.3	60	26.8	50	35.9	33.2	29.7	28.2	27.9
4	2000/11/20 21:16:20	37.3	65	26.1	64.7	35.9	33.3	30.7	27.6	27.3
5	2000/11/20 21:16:20	29.7	57.5	26.2	48.3	32.3	30.2	28.1	27.2	27.1
6	2000/11/20 21:16:20	32	59.8	21	53.2	36.3	34.4	29.2	25.9	25.4
7	2000/11/20 21:16:20	45.5	73.2	21.4	73	47.7	41.2	31.2	23.8	22.9
8	2000/11/20 21:16:20	37.8	65.4	22.5	57.2	43.3	40.9	32.6	25.4	24.5
9	2000/11/20 21:26:21	39.7	67.4	21.3	61.7	45.3	42.7	33.7	27.2	24.8
10	2000/11/20 21:36:22	39.2	66.9	20.9	64.7	43.9	41.8	34.3	26.1	24.3
11	2000/11/20 21:46:23	59.7	87.5	21.2	87.3	57.7	52.8	44.8	33.1	29.1
12	2000/11/20 21:56:24	51.7	79.3	38.8	82.2	53.2	50.6	44.5	41.5	41.2
13	2000/11/20 22:06:25	50.4	78	40.1	74.2	54.8	53.3	47.3	42.1	41.6
14	2000/11/20 22:16:26	48.4	76	40.7	59.6	52.6	51.5	46.8	42.3	41.9
15	2000/11/20 22:26:27	46.1	73.8	20	69	52.2	48.9	30.1	22.5	21.3
16	2000/11/20 22:36:28	35.7	63.3	19.9	65.8	32	29.5	26.2	21	20.7
		35.3	62.9	19.9	61.2	36.7	33.4	26.8	22.3	21.3
				20.2	53.9	32.3	29.8	23.5	20.9	20.7
						31	28.3	23.7	22.5	22.2

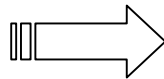
インストール

ACO 騒音計フォルダをハードディスク内の使用するディレクトリにコピーします。

起動と終了

フォルダ内のアイコン Type6224&6 をダブルクリックすると、以下の操作画面が起動します。

ダブルクリック



このボタンを押して終了

PCの操作

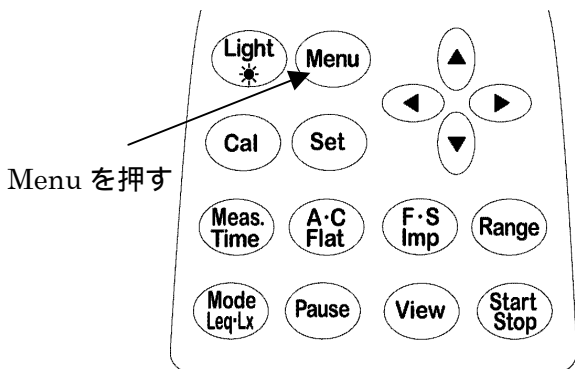
画面については、そこにカーソルを持っていくことにより、説明が表示されます。

データ加工や PC 操作についてはメニューバーをいくつかクリックすれば、自然にわかるようになっていきます。

このガイドでは、騒音計から PC へのデータ転送操作だけを解説します。

計測後にデータ転送する

1. 計測するときの設定



<menu>	1/2
Meas Mode	:Manu
Interval	:Repeat
I/O	:Off
Data delet	:Off
LCD cont	:****
date y/m/d	:00/11/20
Time	:1130:26

<menu>画面

Meas Mode Manu
Interval Repeat
I/O Off

注：他の項目は計測目的に合わせて任意に設定してください。

2. データを PC に転送するときの設定

計測終了後、騒音計を PC に接続します。必ず、専用の変換アダプタをご使用ください。

PC 側の設定



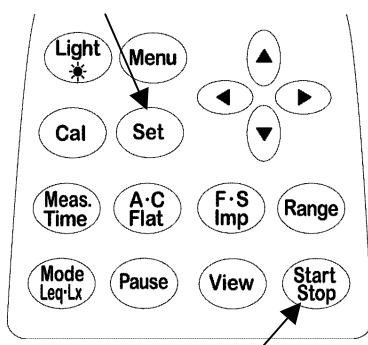
通信速度
通信ポート

9600 bps (通常)
COM1 から COM8 の中から
選択

騒音計側の設定と操作

<menu>画面

I/O PC に変更
Set を押して確定し Start/Stop を押す



下記の画面になり、
データ転送を開始

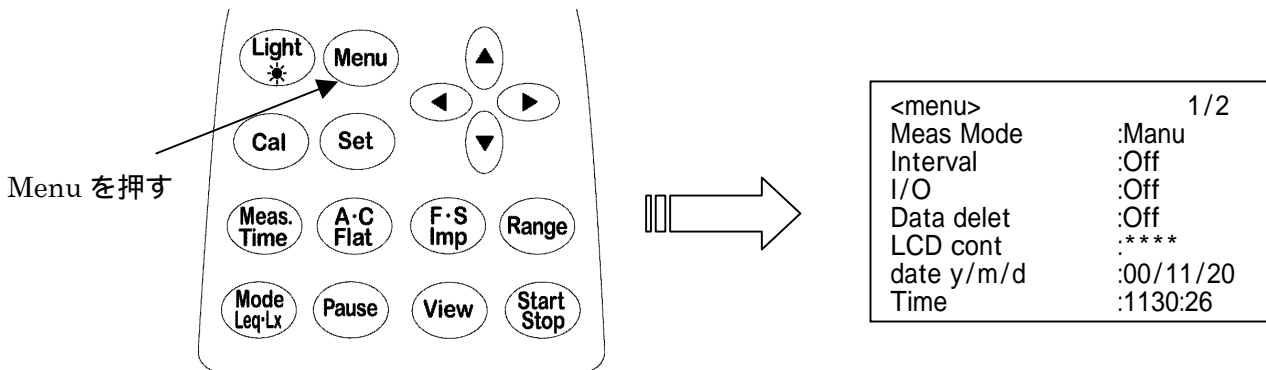
<PC>
List

計測しながらデータ転送する

騒音計と PC を接続します。

PC 側の設定
(計測後転送の設定と同じ)

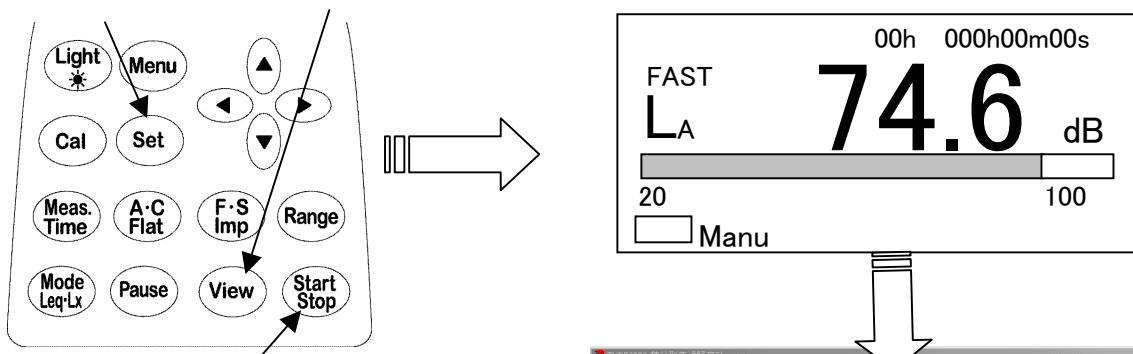
騒音計側の設定と操作



<menu>画面
Interval Off
I/O Off

注：他の項目は計測目的に合わせて任意に設定してください。

Set を押して確定し、View を押して計測画面にする。



Start/Stop を押すと、計測開始と同時に計測時間ごとにデータが転送され、PC 画面にそのデータが追加表示される。計測中に Start/Stop を押すと計測と転送を終了する。

注：転送されたデータは騒音計本体のメモリには保存されません。PC 側で保存してください。なお、このソフトで加工できるのは1ファイル当たり約900データです。これ以上は、900データ以前に保存後、新規受信して下さい。



受信した数値データがここに表示される。